

名和総長解任決定

国立大学法人で初めて



号外

<編集・発行>

北海道大学新聞

編集部

<URL>

hokudaishinbun.com

（お問い合わせ・情報提供
はこちらから）

次の発行予定は7月

国立大学法人北海道大学総長の解任の申出に係る
審議等の結果

令和元年7月4日
国立大学法人北海道大学総長選考会議

総長選考会議が文部科学相に提出した書類は約100点に及んだ
（北大新聞が開示請求した資料）



名和豊春氏（2018年11月）

取りを行わなかったなどと手続きに
対し異議を唱えてきた。解任の通知
を受け取った29日も「うそだと思っ
た」と驚き、司法の場合などで争う姿
勢を崩さなかった。これに対し同省
は「手続きは適正に行われたと考
えている」との立場を示した。

解任の申し出がなされてから解任
判断まで1年近くかかったが、同省
は「大学の学長の解任ということは
重大な案件で、慎重かつ丁寧に確認
し検討した」と説明している。

本学は1日午後2時、会見を開く。

文部科学省は30日、本学の名和豊春総長を同日付で解任すると発表した。職員に對する叱責（しっせき）などがあったとして本学側から解任の申し出が文部科学相に對しなされていた。国立大学の学長の解任は2004年の国立大学法人化以降、初めて。名和氏は取材に、争う姿勢を示してきた。

文科省は30日、北海道大学新聞の取材に応じ、同省が事実確認した名和氏の行為について28件に上ったと明らかにした。また、一般的なパワーハラコメントとしては認
定していないとも話した。

本学の総長選考会議が昨年7月、職員に對する叱責などの行為があったとして「総
長たるに適さない」と解任申し出を文部科学相に對し行った。同省人事課の担当者によ
ると、申し出を受け、同会議が提出した調査報告書や面談記録、名和氏側の陳述書など
を突き合わせて事実の確認を行ったという。

その結果、同省が確認したのは、①役職員に對する総長として不適切な行為②対外
的な大学の信用失墜行為③大学代表者、研究者としての問題行為④総長としての資質
を疑われる行為―で、28件あったとしている。不適切な行為としては、威圧的な言動
や叱責があったとしているが、詳細については明らかにしなかった。

また、事実確認した行為について「一般的なパワーハラと認定しているものはなく、不
適切な行為が行われたというところで確認をしているもの（担当者）と話した。

同省は名和氏への聴聞も踏まえ、解任を決めた。

名和氏はこれまで、声明を出すなどし、選考会議が設けた調査委員会が総長へ聞き